

平成 30 年 12 月 12 日

鳥羽市議会議長 浜口一利 様

議会運営委員長 世古安秀

### 議会運営委員会行政視察報告書の提出について

鳥羽市議会運営委員会では、平成 30 年 10 月 18 日（木）～10 月 19 日（金）に愛知県岩倉市と千葉県柏市を「議会改革の取り組みについて」行政視察を行いました。

今回の視察は中身が濃く成果の多い視察でありました。鳥羽市議会で取り入れられる事は即実行することが必要であります。各委員の報告書をもとに次の 3 点をまとめました。議会改革推進特別委員会で提案したいと考えます。

#### 記

##### 1. 「議会サポーター制度」の導入

岩倉市議会では 8 月から「100 人の議会サポーター制度」を導入。現在 22 名のサポーターがいて 27 件の意見が寄せられている。取り組み始めてからサポーターが傍聴するなどの変化がある。

##### 2. 鳥羽市議会への視察を議員が対応

岩倉市議会では「公務で都合のつかない議員以外は全員で視察対応している。そのことによって勉強になり、議員力、議会力の向上につながる」と黒川議長は強調。他市の先進事例を学ぶことができる。

##### 3. 各委員会の視察報告を本会議場で行う

柏市議会では視察直後の定例会の全員協議会を本会議場で行い(執行部も全員出席)、副委員長が 10 分程度 150 インチのスクリーンとプロジェクターを使用して報告している。行政視察の成果を議員と執行部が共有できる。

※各委員の視察報告については別紙の通りです。

行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 世古安秀

<p>視察月日 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ~10 月 19 日 (金)</p>
<p>視察先及び視察目的</p> <p>10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて先進事例を学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか)</p> <p>10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて先進事例を学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)</p>
<p>説明者</p> <p>岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、柘谷規子 議員</p> <p>柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか</p>
<p>参加者</p> <p>委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利</p>
<p>成果・所感</p> <p>◎岩倉市議会</p> <p>①まず最初に議会の視察対応については 15 人全員が対応するということで驚きました。この度は 7 名の議員が対応していただきありがとうございました。議員が対応することによって逆に視察先の議会から学ぶことができる。鳥羽市議会も直ぐにでも議員対応が必要であると思いました。</p> <p>②議会基本条例の見直しについては毎年 3 月から 4 月にかけて 2 回行っているとの事でした。鳥羽市議会ではこれまで条例自体の見直しは行われておりません。今後は毎年見直しを行ない、実情に応じた議会基本条例にしていかなければならないと感じました。</p> <p>③執行部からの議案の概要説明は定例会直近の全員協議会において行われているとのこ</p>

とです。その全員協議会は毎月 20 日を原則に開催されています。現在鳥羽市議会では議会運営委員会で概要の説明がありますが議会運営委員以外の議員に対しての説明はありません。今後は全議員に対しての概要説明が必要である。

- ④ほとんどの議員が毎議会に一般質問に登壇しているとの質問に対しては、それが当たり前のようになっているとの事でした。鳥羽市議会も大いに見習わなければならぬと感じました。

#### ◎柏市議会

①視察対応を議場で受けました。これはいい。実際にプロジェクターの大型スクリーンやプレゼンテーションソフトを活用や採決システムを体験できて非常にわかりやすかった。ただこの機材の整備に対しては平成 22 年の設置には 2961 万円の経費がかかっているとの事でした。これが大きな課題である。現在の鳥羽市議会議場のモニターの大きさでは執行部や議員そして傍聴者にはなかなか分かりにくいところがある。正面への大型スクリーン設置については改善すべきところが十分ある。

②定例会の提出議案については開会の 3 週間前に執行部主催で会派への説明会を開いている。柏市議会の議会の日程は基本的には慣例として午後から行なっているとの事でした。会派に対しての説明会も午後いっぱいを使い行なっています。どういふ場であろうとも議員全員への提出議案に対する概要説明の場が必要である。

③議員が視察に行ったときの報告を副委員長が本会議場で行っている。副委員長が行うのは委員会ではなかなか出番がないため。時間は 10 分を目安としている。定例会開会日終了後に、議場で全員協議会を開催しその中で報告を行っています。これはいいことだな。鳥羽市議会もぜひ採用すべきであると思いました。

④かしわ市議会だよりが中核市議会議長会「議会報コンクール」で「審査員特別賞」を受賞しています。リニューアルをしてわかりやすい紙面になっている。A4 見開きの 8 ページ。1 面と 8 面はカラーで印刷。市民への配布は大半は新聞折り込みで行っている。デザインレイアウトは以前事務局が作成していたが編集業務委託業者が作成をしています。また議会だよりを発行するにあたり基本方針と編集方針を定めています。議会や議員の活動を市民に伝える議会だよりがこれからは最も重要になってくると思います。市民が読みたいと思う議会だよりの編集にさらに力を入れていく必要があると感じました。

今回の視察は愛知県岩倉市から千葉県柏市までのハードな視察であったが、内容の濃い成果の多い視察であったと思います。鳥羽市議会に取り入れられる事はすぐやる必要があると思います。

議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 山本哲也

<b>視察月日</b> 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ~10 月 19 日 (金)
<b>視察先及び視察目的</b> 10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか) 10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)
<b>説明者</b> 岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、梶谷規子 議員 柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか
<b>参加者</b> 委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利
<b>成果・所感</b> 議会基本条例の見直し・検証についてや議会サポーター制度や、様々な議会報告会の取り組みについて勉強させていただきました。 ・基本条例の見直しについて 議員全員で構成する検証特別委員会を設置。年 2 回 (3 月、4 月) に開催。 課題ごとにチームを作り調査研究を行っている。 【導入について】 条例設置後、検証も含め見直しが行われておらず、当市議会においても岩倉市議会と同様に委員会を設置し調査研究を行うべきであると考えます。 ・議会サポーター制度 8 月からの取り組み。22 名のサポーター (男女比 15 : 7、平均年齢 64、7 歳、35

～85歳、公募13名無作為9名) 27件の意見が寄せられてる。意見は議会運営を中心としたものに限っている。取り組み始めてからサポーターが傍聴するなどの変化がある。

【導入について】

鳥羽市議会においても、議会運営における市民意見は大変貴重でありサポーター制度は検討すべきであると考えます。

岩倉市議会では視察対応は議員が対応しており視察があれば出席できる議員はほぼ出席し対応にあたるそうです。「視察対応で学ぶことは多い」議長さんもしっかりおっしゃってました。今回は委員会と重なったので7名の議員さんに対応していただきました。自分も対応させていただいて同じように感じますので視察対応に同僚議員の参加を再度呼びかけたいと思います。

柏市議会では本会議場のモニターシステムや採決システム、広報紙などを視察させていただきました。取り入れたいと思ったのは本会議場での視察報告。本会議終了後、執行部も残ったうえで全員協議会として視察報告を実施。モニターを使いながら視察での成果を執行部も含めて共有されているとのこと。

【導入について】

採決システムは見ていると非常にわかりやすい。モニターシステムの更新時に検討の余地はあると思います。また、本会議場での委員会視察報告は、委員会での視察検証にもつながり、委員機能の向上も期待できることから採用すべきであると考えます。

議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 戸上 健

<p>視察月日 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ~10 月 19 日 (金)</p>
<p>視察先及び視察目的 10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか) 10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)</p>
<p>説明者 岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、梶谷規子 議員 柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか</p>
<p>参加者 委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利</p>
<p>成果・所感 【岩倉市議会】 1 議会での行政評価研修、法制執務研修について 市の課長級職員を講師に実施している。「学ぶ機会となった」と応答。取り入れたい。  2 議会サポーター制度について 「100 人の議会サポーター制度」を 22 人からスタートしている。本会議、委員会を傍聴して 27 件の意見があった。参考になる。鳥羽市議会も検討の余地があるのではないか  3 予算、決算委員会の運営方法について 予算委員会、決算委員会もすぐ質疑に入っている。執行部の説明は定例会直近の全協でしている。委員会までの間に議員個々が執行部に聞き取りをする。議会事務局がタイムスケ</p>

ジュールを作っている。鳥羽のような当日説明、当日質疑は質疑自体が深まらない。ぜひ検討したいやり方ではないか

#### 4 毎回の一般質問にほぼ全議員が登壇する秘訣について

ぜひとも学びたいと思ったが、結局のところ、議会としてどうこうでもなく、議員個々の自己努力の違いにあった

#### 5 他市議会からの視察に全議員が対応することについて

これまた驚きで、その理由は何かを問うたが「幅広く意見交換を行う体制を整え、より充実し視察となるよう心掛けている」とある。岩倉市議会としても「議会改革に対するモチベーションの維持、向上や他市町議会の考え方を知る機会となるなど学びの機会としたい」と答えた。視察議会へのリスペクトを感じ、鳥羽もぜひそうしたい。

#### 6 決算認定での代表監査委員への質疑について

これを可能としている。これも学ぶべき点で鳥羽もとりいれたい

#### 7 議案の質疑について

鳥羽の場合、意見や提案はできないとなっている。岩倉市議会は厳格な規制をせず、ある程度自由な発言を保証している。これも検討事項ではないか

### 【柏市議会】

#### 1 予算決算の審査方法について

開会日の2～3週間前に会派説明会（1会派半日程度とのことだった）を開く。委員会で執行部説明はなく、すぐ審査に入る。ここでも当日説明、当日質疑制度ではなく議論が深まっている

#### 2 委員長報告の作成方法について

予算、決算の場合各議員から報告に入れる意見を文書で提出。事務局でまとめ委員長に提出して原案としている。鳥羽の議員間討論と組み合わせればさらに充実した委員長報告にできる。検討課題ではないか

#### 3 各委員会の視察報告について

直後の定例会の全協を本会議場で行い（執行部も全員出席）、副委員長が10分程度報告する。これもいい方法ではないか

#### 4 定例会の間の委員会開催について

委員長の職権で所管の執行部から報告を受け、審議している。委員会の積極的アクションであり、鳥羽もぜひとりいれたい

行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 坂倉広子

<p><b>視察月日</b> 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ~10 月 19 日 (金)</p>
<p><b>視察先及び視察目的</b></p> <p>10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて先進事例を学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか)</p> <p>10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて先進事例を学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)</p>
<p><b>説明者</b></p> <p>岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、梶谷規子 議員</p> <p>柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか</p>
<p><b>参加者</b></p> <p>委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利</p>
<p><b>成果・所感</b></p> <p>愛知県岩倉市 第 1 印象コンパクトなまち H30 年 13 回マニフェスト大賞ノミネート「成果賞ノミネート」された、どのように取り組まれたのか、経緯を調査。市民の意見を予算審議に反映させる事を目的。定例会直前 2 月において、「きてちょ〜議会報告会」を開催。新規事業の予算説明を行い市民との意見聴取意見交換を行う。外国人ママとのおだんごトークの開催。岩倉市の公共施設のあり方を考える市議会主催講演会の開催。 議会サポーター制度の取り組み。 人口約 5 万人議員 15 人 視察対応は議員全員でやっている。 議会報告会の周知は、地域の新聞 コミコミ紙など市の広報以外に周知している。 市民との垣根をなくして、議員から出向いて、意見聴取。議員のあるべき姿、を考えさせ</p>

ていただきました。

なぜ、おだんごトークとしたのか、それは、外国人ママとの言葉の壁を取り払い、お菓子作りからだど、子どもと一緒に参加しやすいなど、工夫されている。「おむすびトーク」のタイトルとおもしろい。親しみやすい。

議会として議長の話の中で「岩倉市議スタイル」の言葉全議員で取り組んでいます。印象的でした。

千葉県柏市

柏市人口 420 万人 大きな市ではあるが、議会改革の取り組みのなかで、プロジェクター及びスクリーンの使用について調査させて、いただきました。傍聴に来てくださる、市民の方々がもっと、わかりやすい。環境を整える事が大切かと考えます。費用対効果とランニングコストが必要なのか。取り組むのにあたり、どれだけの効果があるのか、研究していきたい。

## 議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 尾崎 幹

<b>視察月日</b> 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ~10 月 19 日 (金)
<b>視察先及び視察目的</b> 10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか) 10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)
<b>説明者</b> 岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、梶谷規子 議員 柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか
<b>参加者</b> 委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利
<b>成果・所感</b> <b>岩倉市議会</b> 議会基本条例について 基本条例の第 27 条 (検証及び見直し) の 1 について議会基本条例検証特別委員会を設置し検証を行っていること、又、第 27 条の 3 について議会サポート制度創設に伴い、本会議において、第 10 条 (市民参加及び市民との連携) の改正理由と背景を説明し改正しているとのことである。 <b>所感</b> ・住民、サポート制度については、鳥羽市議会も取り入れ議会に対しての意識、向上を図るべきであると強く感じました。 ・サポーターによる各委員会の傍聴者がいること、全協まで傍聴者がいることが素晴らしいと感じた。

#### 柏市議会

柏市議会の主な取り組みの中でも議場設備の充実度は、市民目線の充実度につながっている、議場内の中でも正面に 150 インチスクリーンを設置してプロジェクターで資料など写し出すことができ、ハッキリと傍聴者にわかることができます。又、インターネット・テレビ放映でも映し出された資料なども見やすくなり、お金をかければ市民サービスにつながっていくことができる。

#### 所感

大きな市ほどいろいろな取り組みができ、その取り組みが住民サービスにつながっていることが市民意識の向上につながるのではないかと思います。

柏市議会は二元代表制を重視しているのか執行部の反問権行使が有るとの事が切磋琢磨していることが実績ではないか。

政務活動費情報誌がある事に驚きです。市民オンブズマンの存在が大きいのでは。

議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 坂倉紀男

<p><b>視察月日</b> 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ～10 月 19 日 (金)</p>
<p><b>視察先及び視察目的</b> 10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか) 10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)</p>
<p><b>説明者</b> 岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、梶谷規子 議員 柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか</p>
<p><b>参加者</b> 委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利</p>
<p><b>成果・所感</b> 岩倉市議会 岩倉市議会は、長年の議会運営を「市議会慣例及び実例集」等で透明性を確保してきましたが、平成二十年初期のころの強い地方分権の進展にともない、議会の在り方が大きく問われることになり「議会基本条例策定・議会改革特別委員会」の設置が各地でされました。両市議会共々に岩倉市議会平成 23 年 5 月 1 日施行・鳥羽市議会平成 23 年 4 月 1 日施行でした。 今後、岩倉市議会では、「ふれあいトーク」と「議会サポーター」に力を入れてゆくことが伺えました。何れも市民との交流の場を広げることと、議会への理解を深めることが目的であると考えられます。 しかし、黒川議長によれば、議会報告会も 13 回開催したものの当初こそ 50 人～60 人だったが回を重ねるごとに減少・固定化し、あらゆる角度から工夫しましたが低迷状態から脱</p>

することなく議会基本条例推進協議会に、持ち込み議論するところとなり、そこでは報告会を止める意見はなく「市民目線が欠けていた」「決まったことを聞いても仕方が無いという意見がある」先ずは、自分たちの取り組みが議会本位である。市民の求めるものは何かを議論しました。そうして生まれたのが、「きてちょ～議会報告会」どん底から這い上がる教訓を全議員で共有したことが議会改革に繋がって行きました。

私たちの議会が「旧議会報告会」から「TOBA ミライトーク」へ脱皮してゆくのとは良く似ていると思いました。

岩倉市議会に於けるもうひとつの冒頭部分で挙げました「市民との連携を深めてゆく」取り組みプロジェクトが、「議会サポーター制度」です。この取り組みに、議会モニター制度を検討事項に挙げました。他市町の取り組み事例を研究し、全国でも珍しい市民目線の「議会サポーター」制度の検討を重ねたそうです。

議会サポーター制度の職務は、会議を傍聴することを中心に、議会に関すること全てについて意見や回答等々、無理のない範囲で活動していただくものです。黒川議長は言います。今後は議会改革の取り組みを応用の段階へ高めていくと……。具体的な課題は委員会代表質問、行政評価・決算から予算への政策サイクルの確立、財政規律の指針・条例化などへの取り組みを進めてゆく考えで熟議してゆくとのことでした。

#### 柏市議会

愛知県岩倉市の視察研修を終えて夕刻迫るころ、名古屋、東京を経て千葉県柏市へ。

柏市は人口約 42 万、東京都特別区部への通勤率は 42.9%であり、市議会議員定数は 36 名である。今までの他市視察対応といささかことになっていたのは、いきなり素晴らしい！議場へ案内され、わが議員も其々議員席へ着席して、質疑応答が始まりましたね。

議場は、先ずハード面での議会改革でしょうか議長の背面に 150 吋の大型スクリーンがあります。両脇に国旗と市旗が掲げられてあり実に荘厳なもので、私の夢でもあります。

次に、一般質問や質疑に於ける議員提案資料はプロジェクターにより、正面大型スクリーンに写し出されます。

また、主に上程議案等の表決も（採決システムの導入）議員自席の押しボタンから送信して中央大型パネルに即時表示されます。

柏市議会の「市議会だより」は最近ではスマートフォンタブレット端末で配信を行っているそうです。「見やすく、解りやすく、読みやすく」を 3 点のこだわりとして、大幅のリニューアルを目指しているそうです。

柏市は、日本プロサッカークラブ（Jリーグ）加盟の「柏レイソル」だけではありません。都心に近い地の利で、数多くの一流企業の事業所や工場が誘致され雇用面・税収面での有利さが光っています。

柏市は、市議会に於いて超党派の議員提案による「団体意思決定議案である政策条例の策定」その他「議員の自由討議」執行部への「反問権の付与」等は「生きている議会改革の

成果」として特筆すべきと思います。

## 議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員長 世古安秀 様

議会運営委員会委員 浜口一利

<b>視察月日</b> 平成 30 年 10 月 18 日 (木) ~10 月 19 日 (金)
<b>視察先及び視察目的</b> 10 月 18 日 (木) 愛知県岩倉市 議会改革の取り組みについて学ぶため (議会基本条例の見直しおよび検証について・議員視察対応についてほか) 10 月 19 日 (金) 千葉県柏市 議会改革の取り組みについて学ぶため (プロジェクター等議場設備について・議会広報についてほか)
<b>説明者</b> 岩倉市 黒川武 議長、大野慎治 副議長、櫻井伸賢 議員、塚本秋雄 議員、 須藤智子 議員、梅村均 議員、梶谷規子 議員 柏市 議会事務局事務局長、議会事務局議事課長ほか
<b>参加者</b> 委員長 世古安秀 副委員長 山本哲也 委員 戸上健、坂倉広子、尾崎幹、坂倉紀男 議長 浜口一利
<b>成果・所感</b> 岩倉市 岩倉市は愛知県西部の濃尾平野に位置し、人口は 48,000 人、名古屋市近郊の住宅都市として発展してきたそうです。面積は 10・47 km <sup>2</sup> とコンパクト、鳥羽市と違って、行政効率が良さそう。 黒川議長の挨拶の中で、公務で都合のつかない議員以外は全員で視察対応しているとの事でした。そうする事によって勉強になる、議員力、議会力の向上につながると黒川議長は強調していました。 鳥羽市も今年から私と副議長、広報広聴委員長を中心に対応していますが、同じ思いを感じています。他の議員にも対応をお願いしていきたいです。 議会基本条例は平成 23 年に施行され、8 年目を迎え「岩倉市議会サポーター制度」の実施を契機に議会改革への取り組みを進めていきたい、又、住民の声を聴くこと、それを市政

に反映することなど、議会全体での努力が感じられました。

議会報告会についても、回数を重ねる毎に参加者の固定化など、どこの議会でも同じような問題が有り「きてちょう〜、議会報告会」「おむすびトーク」「模擬議会」など、創意工夫しているようです。

又、一般質問は毎回多くて、ほとんどの議員が質問するそうですが、鳥羽市議会もそうであってほしいです。

#### 柏市

柏市は東京都心部から近く、道路や鉄道の交通条件に恵まれた、人口 40 万人を擁する都市、又、プロサッカーチーム「柏レイソル」のホームタウンとしても有名です。

議員数は 36 人、常任委員会は 4 で決算は 12 人の特別委員会、予算は全員で審議されます。鳥羽市議会では質疑と一般質問は本質的に違いがあって分けて考えていますが、議案質疑と一般質問を同時に行うとの事です。

視察目的の議場設備については、正面に 150 インチスクリーン、議場両サイドには 65 インチモニターが設置されていて、比べて見ると鳥羽市のモニターは見劣りします。

演壇横には書画カメラが備わっていて、直接、資料を撮影してスクリーンに写すこともできます。立体物も投影出来るし、パソコンからも写すこともできます。運用には投影資料を前日正午までに議長へ提出して許可を得たものを使用するなど、詳細な運用規則がありますが、議論が分かりやすくなったなどメリットも多くあるようです。

議員席には投票ボタンがあって正面の大型スクリーンに表示されるようになっていましたが、慣れないと間違えて表決してしまいそうな感がありました。

議会だよりも平成 29 年度より、リニューアルして一人でも多くの市民に、手に取って読んでもらえる 市議会だよりを目指しています。提出された資料に「かしわ市議会だより基本方針」「編集方針」が詳細に明記されていました。

393mm×273mm 版と鳥羽市の「わたしの議会。」より 8 ページと予算額も多く、ずっと大きくて見易いですが、「わたしの議会。」もより良いものにしようと頑張っています。

柏市での視察を通じて、即、実施したいと思った事は議員視察の議場での報告です。各委員会で行った視察について、直後の定例会開会日終了後に議場で全員協議会を開催してその中で副委員長が行っているとの事です。執行部も共有出来るし、議会放送を通じて市民にも発信できる、その前には委員会全体でまとめなければならなくなる。委員会でも共有できる、利点が多くあるように思いました。議会改革特別委員会で協議してもらいたいと思っています。

以上、議会運営委員会視察報告といたします。